

令和 6 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2024 年 10 月 28 日

学 長 殿

所属部局・職名

(所属・学年) 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名

(学会参加助成の場合は参加者名)

永幡 幸司

助成の区分 (該当するものに○)	○学会参加助成・学術出版助成・学術論文掲載料等助成
事業名	ISO/TC 43/SC 1/WG 54 23rd meeting
成果の概要	<p>ISO/TC 43/SC 1/WG 54 は、国際標準規格を制定する ISO の中で、音響学を担当する専門委員会である TC 43 の騒音分科会である SC 1 の参加で、サウンドスケープの質の知覚的評価方法の国際標準の原案を策定するワーキンググループである。このワーキンググループでは、現在、ISO/TS 12913-3 の改訂原案と ISO/(CD)TS 12913-4 の原案を策定中である。</p> <p>今回の会議では、主として、オンライン開催された前回(22nd meeting)会議で大筋修正の方向性が決まっていた ISO/TS 12913-3 の改訂原案の最終確認と、ISO/(CD)TS 12913-4 のプロジェクトリーダーが準備してきた原案の原案に対するディスカッションを行った。</p> <p>そのうち、サウンドスケープ調査を行った後のデータ分析方法を規定する ISO/TS 12913-3 については、申請者もメンバーの一人である国際共同研究の成果を取り入れた形でまとまった改訂原案が最終的に決定された。</p> <p>また、サウンドスケープ調査で得られた成果を実際のデザインに活用するための指針を示すことを目指している ISO/(CD)TS 12913-4 については、主としてこのパートで新たに加えられる専門用語の定義など、専門家の間でも議論が分かれている論点について集中的な議論が行われ、いくつかの点は合意形成が図られ、残る点はプロジェクトリーダーが次回の会議までに修正案を再提案することとなった。</p>